

Q1.ごみ問題

小金井のごみ問題を解決するにはどうしたらよいと思いますか？



漢人 そもそも、大量生産、大量消費、大量廃棄の生活を見直すべき。製造者の資源回収を義務付ける法整備が必要です。

片山 フードマイレージを下げ、化学物質や放射能汚染のない地産地消を進めることが、ごみの減量にもエネルギーの減少にもつながります。三多摩全体で資源循環の仕組みを作りたいですね。

坂井 長期的には「ゼロ・ウェイスト宣言」をして、ごみゼロ都市をめざすべき。生ごみは分別して消滅型で処理していくのが、住宅が多い都市部では有効です。

Q2.脱原発

小金井から脱原発を進めていくためには何ができるの？



漢人 議会では毎年、決算委員会で市の施設のCO₂排出量をチェックしてきました。小金井は節電・省エネはかなりガンバっているんですよ。

片山 節電は大事ですよ。3.11以降、しつこく追求してPPS（電力自由化）も導入されました。あとは再生可能エネルギーを作る市民発電所かな。

坂井 「脱原発小金井宣言」することが重要。環境配慮住宅型研修施設もうまく使いたい。

Q3.暮らし

子どもおとなも暮らしやすい町にするためにはどうしたらいいですか？



漢人 子どもは社会で育つもの。ひとり親が使えるサービスの広報は増やしてきたけど、サービスそのものがまだ足りないし使いにくいよね。

片山 「子どもの権利条例」の推進計画を作り、子どもオンブズパーソンを設置するなど、子どもの人権とともにおとなの人権にも目を向けられる仕組みを作らなくては。

坂井 地域で子どもをみることでできる社会は、そのつながりが助け合いにもなるし、みんなが暮らしやすくなると思うな。

どんな小金井にしたい？ Q&A



Q5.議会

市議会議員の仕事ってなに？どんな役割があるんだろう？



漢人 市議会議員は市民のご用聞きではありません。市民が自分で市政に関われるように、市の情報をお知らせし、サポートする役割があります。

片山 市長と議員はそれぞれが選ばれた市民の代表。市政をチェックし、政策提言することができます。市民とともに活動し情報公開しながら、開かれたわかりやすい議会にしていくことが重要ですね。

坂井 市政をどうしていくのか「議決」を通じて意思決定するという大切な仕事があります。市民の代表として働きながら、市民と一緒にまちづくりをしていくことが大切です。

Q4.格差

今の社会で広がる格差をなくしていくために何ができるの？



漢人 公契約条例を作る、非正規雇用者の待遇改善をするなど、市の仕組みを整えることが社会全体にもいい影響を与えます。

片山 生活保護の手前のセーフティネットの整備。貧困の連鎖を防ぐために、就学援助や奨学金の拡充など、子どもの教育支援が必要です。

坂井 若い世代にも、派遣、非正規とか不安定雇用が広がり、生活保護受給者も増えています。地域での雇用を拡大していく施策が必要ですね。

エコでピースでフェアな未来 にむけて 片山かおるさんと坂井えつ子さんにバトンタッチ

市議としての16年、多くの市民と連携して、市民参加条例、住民投票制度、議会基本条例への着手など市民参加の制度を整えてきました。この器を活かしていくのは市民です。

以前の議会は非公開の会議が多く、市民は「傍聴人取締り規則」の対象、市の審議会もほとんど会議録も委員公募もなく、いくつも兼職して何十年も続けている委員が多いなど、とても閉鎖的だったんですよ…。

エコでピースでフェアな未来には、地域の自治力が必須です。私はこの3月で、16年の議員としての活動に終止符を打ち、議員

の仕事を片山かおるさん、そして坂井えつ子さんにバトンタッチしたいと思います。私は市民として支えていきます。小金井の市民自治の力をパワーアップするために、ご協力をお願いします！



漢人あきこ (かんど・あきこ)

1960年生まれ。緑町在住。1983年より市内「どろんこ保育所」で働く。1997年より市議会議員、現在4期目。市民自治がねい共同代表。緑の党GreensJapan運営委員長。11月ドイツ緑の党大会に招待され参加型の組織運営を学ぶ。 kando.cc

「4年間の議員活動で見えてきたもの」

「子どもの権利条例」の視点から見た子ども支援（民間委託問題も含む）、子どもの貧困対策に加え、震災後は放射能汚染対策と被災者支援、エネルギーシフトの質疑に重点を置きました。市民の注目によって議会も行政も変わることを実感。民主主義を機能させるためにも、行政と市民の協働をうまく進めて、市民が主体になる市政にしていきたい！



片山かおる (かたやま・かおる)

1966年生まれ。前原町在住。2009年より市議会議員。片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちとともに活動中。全国フェミニスト議員連盟共同代表、福島原発告訴団・関東事務局、福島避難者子ども健康相談会などにも参加。

katayamakaoru.net

「議会で実現したいこと」

障がい者や、高齢者、子どもなど社会的に弱い立場に立たされている人も地域で安心して暮らせる仕組みづくり。孤立している子育て中の親や介護者、若い世代の声も反映した市政にしていきたい。



坂井えつ子 (さかい・えつこ)

1980年生まれ。桜町在住。小金井市立緑小学校・緑中学校、都立小金井北高校、日本大学法学部卒業。日本福祉教育専門学校入学。精神障がい者と呼ばれる方達が暮らすグループホームに勤務。2012年10月まで小金井市図書館協議会委員。緑の党会員。韓国一周100日Walkに参加。 tunagarukoganei.wordpress.com